

## 議会運営委員会会議録（要旨）

|                |   |
|----------------|---|
| 日 時            | 平成29年2月8日（水） 午前10時00分～午後0時30分   |
| 場 所            | 長久手市役所本庁舎 2階 委員会室   |
| 出席委員           | 委員長 加藤和男      副委員長      じんの和子<br>委 員 青山直道      大島令子      木村さゆり<br>佐野尚人      なかじま和代      吉田ひでき |
| 職務のため出席した者の職氏名 | 議 長 伊藤祐司<br>委員外議員 岡崎つよし<br>事務局長 角谷俊卓      局長補佐 貝沼圭子      専門員 大谷悠                              |

1 あいさつ  
議長、市長

### 2 議題

(1) 平成29年第1回長久手市議会定例会について

ア 付議予定議案について

＜説明：総務部長＞

- ・ 議案第1号から議案第30号まで及び同意案第1号（議案の概要のとおり）

イ 会期日程について

＜説明：事務局＞

- ・ 2月21日から3月23日までの31日間
- ・ 3月9日総務委員会、10日教育福祉委員会、13日暮らし建設委員会

（委員長） 説明のと通りの会期日程でよいか。

＜異議なし＞

（議長） 委員会開催時間を仮に午前10時からとしているが、委員会条例で委員会は委員長が招集すると定めているので、各委員長は議案や日程を考慮の上、開催時間を今後検討されたい。

ウ 議事日程について

＜説明：事務局＞（議事日程第1号～第6号のとおり）

- ・ 第1号 会議録署名議員（なかじま和代議員、岡崎つよし議員）  
会期の決定、諸般の報告、予算特別委員会の設置、議案第1号から議案第30号まで（上程・施政方針・説明）、同意案第1号（上程・説明・議案質疑・討論採決）

- ・ 第2号 諸般の報告、諸般の報告に対する質疑、議案第1号から議案第30号まで（議案質疑・委員会付託）
- ・ 第3号～第5号 一般質問（代表質問、個人質問）
- ・ 第6号 議案第1号から議案第30号まで（委員長報告・委員長報告に対する質疑・討論採決）、閉会中の継続調査の申出

(委員長) 説明のと通りの議事日程でよいか。

<異議なし>

エ 予算特別委員会の設置について

<説明：事務局>

- ・ 2月21日（開会日）設置の議決

(委員長) 委員は8人だが会派別の構成はどのようにすべきか意見はあるか。

(委員) 平成28年第3回定例会の決算特別委員会と同じでよい。

(委員長) 公明党1人、市民ネット1人、創政クラブ1人、長久手グローバルネット2人、政策グループガイア1人、改革ながくて1人、無党派1人としてよいか。

<異議なし>

(委員長) ・ 次回の議会運営委員会で各会派等の委員候補者を報告してほしい。

オ その他

<説明：事務局>

- ・ 総務委員会付託議案（予算2件、条例7件）
- ・ 教育福祉委員会付託議案（予算6件、条例2件）
- ・ 暮らし建設委員会付託議案（予算8件、条例1件、その他3件）
- ・ 予算特別委員会付託議案（予算1件）

(委員長) ・ 説明のと通りの内容でよいか。

<異議なし>

(2) 請願者の押印の取扱について

<説明：事務局>（長久手市議会会議規則新旧対照表のとおり）

(事務局) 請願書の記載事項について、会議規則で請願者の氏名の記載及び押印が必要と定めているが、請願者の署名又は記名押印とするよう改める。議案は閉会日に議会運営委員会から提出とし、平成29年4月1日施行とされたい。

(委員長) 説明のと通りの内容としてよいか。

<異議なし>

<午前11時02分休憩>

<午前11時10分再開>

(3) 長久手市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について

<説明：事務局>（条例案新旧対照表、条例案全文のとおり）

（事務局） 議案は閉会日に議会運営委員会から提出とし、平成29年4月1日施行とされたい。

（委員） 前回議会運営委員会で検討した条例案から多くの修正があるが、その経緯はどのようなか。

（事務局） 今回配付した条例案は、法規審査の指摘事項の修正を反映したものである。

（委員長） 条例案を全議員に配付するので各会派で検討の上、次回議会運営委員会で決定することとしてよいか。

<異議なし>

#### （4）平成29年度の会期日程案について

<説明：事務局>（臨時会、定例会会期日程案のとおり）

（議長） 一般質問や予算、決算特別委員会の審議等に日程的な余裕を確保するため、従来の会期より1、2日間長く設定している。また、あらかじめ把握している年間行事や一部事務組合議会の日程や、議案説明会から議案質疑までの議案精読期間の確保についても配慮した。各日程は、従来どおり当該定例会、臨時会の1回前の定例会開会前に開催する議会運営委員会で最終決定するが、今回提案した日程案で予定されたい。

（事務局） 従来、一般質問や予算、決算特別委員会後の翌日は原則休会としていたが、休会日の前に予備日を設定し時間的余裕を確保した。また予算、決算特別委員会は2日間連続とならないよう配慮した。

（委員） 以前から一般質問と常任委員会の日程を入れ替えてはどうかと提案していたが、今後議論の余地はあるのか。

（議長） 今回提案した日程案は、開会から閉会までの期間や議会活動が可能な日を示すので把握されたいというものである。日程の入れ替え等は、今後の議会運営委員会で議論されたい。

（委員長） 平成29年度会期日程案のとおりとしてよいか。

<異議なし>

#### （5）議会運営の課題について

##### ア 議会報告会

（委員長） 議会報告会の結果報告を議会ホームページと議会だよりに掲載した。また参加者からの質問についても回答した。

##### イ 議員研修の講師の所見

（委員長） 予算、決算特別委員会の常任委員会化について、各会派から意見を聞きたい。

（創政クラブ） 常任委員会化すべきである。また既存の常任委員会の委員定数について、6人は少ないので検討すべきである。

（長久手グローバルネット） 常任委員会化の方針で議論したい。委員数については、委

員会付託や審査の方法によって決定すべきであるので、まずは先進事例を研究した上で検討してはどうか。

(公明党) 会派としての結論はまだ出ていない。予算、決算特別委員会を常任委員会化するのであれば、既存の常任委員会を3つから2つに変更することも検討してはどうか。

(政策グループガイア) 予算、決算特別委員会を常任委員会化した際に、各常任委員会の委員の人数構成の議論が進んでいないため、会派としての結論はまだ出ていない。

(市民ネット) 会派としての結論はまだ出ていない。3、4年前にも予算、決算特別委員会の常任委員会化について議論されたことがある。先進事例として京丹後市と大津市を視察したが、事例がさまざまであり、その時は議論がまとまらなかった。今回常任委員会化を検討するのであれば、さまざまな事例から本市議会に合ったものにする必要がある。

(無会派) 議員研修を実施したので、新しいことは積極的に取り入れるべきである。

(改革ながくて) 会派としての結論はまだ出ていない。委員は議員全員、各会派から数人、各常任委員会委員から数人とするのか議論が必要である。議員全員を委員とした場合、委員会で決定したものを本会議で同じ議員で採決することに対して市民にどう説明するかについても検討が必要である。

(委員長) 各会派からさまざまな意見が出た。今後議会改革を進める上で議会運営委員会で議論していくのは難しいため、特別委員会を設置して議論するのはどうか。

(委員) 委員長と同意見である。

(委員) 議会運営委員会の中に作業部会を作ってはどうか。

(委員) 議会運営委員会の開催数を増やして議会運営委員会で議論すればよい。

(副委員長) 特別委員会を設置して進めるのがよい。

(委員長) 常任委員会化の方針については次回議会運営委員会で決定することとしてよい。

<異議なし>

#### 4 その他

##### 政務活動費について

(議長) 前回政務活動費の問題点や運用について提案したが、問題点の整理や支給方法の検討等に時間を要するため、今年度の報告と来年度の交付申請は現行のとおりとし、次年度以降の検討事項としたい。

(委員) 現行では政務活動費は個人に対する支給であるので、会派活動に係る費用も政務活動費に充てることのできるよう併せて検討したい。

(委員長) 次回以降の議会運営委員会で議論することによいか。

<異議なし>

次回は2月17日（金）午前10時  
以上で議会運営委員会を終了する。